

令和3年度第1回北杜市図書館協議会会議録

- (1) 会議名：令和3年度第1回北杜市図書館協議会
- (2) 開催日時：令和3年6月29日（火）午後1時30分～午後3時00分
- (3) 開催場所：北杜市金田一春彦記念図書館 SVホール
- (4) 出席者：協議会委員 高橋正子／坂本美里／仲田君恵／坂本ひろみ
望月淳一／金子朋子／小澤 志保子／興石義彦
事務局 興水清司(教育長)・佐野 隆(参事)・廣瀬公明(中央図書館長)
山坂将之・大塚 美智子・河野明美
植松宏美(たかね図書館) 細田恵子(小淵沢図書館)
小淵沢中学校図書館司書 五十嵐陽子
- (5) 委嘱状交付：興水教育長より協議会委員8名に交付
- (6) 教育長挨拶
- (7) 自己紹介：事務局による自己紹介(中央図書館職員4名、出席館職員2名)
- (8) 役員選出：会長 興石義彦 副会長 小澤志保子
- (9) 議題
 - ① 図書館協議会の職務及び北杜市図書館の課題について
 - ② 令和3年度事業計画及び予算について
 - ③ その他報告
 - ① 各図書館の近況報告について
 - ② その他
- (10) 公開・非公開の別：公開
- (11) 傍聴人の数： 0人
- (12) 審議内容：議事録署名委員を坂本美里委員と仲田君恵委員へ依頼

議 題

- ① 図書館協議会の職務及び北杜市図書館の課題について

～事務局より資料に基づき説明～

会 長：意見、質問等ございましたらお願いします。

会 長：課題については改めて検討するということでしょうか？

事務局：必要に応じて改めて検討していきます。現在、学校、家庭内での読書に関する取り組み状況を調査する「子供読書活動のアンケート」を行っています。次回の協議会で、その結果を報告する予定です。

会 長：課題については、今後審議をしていくということですが、現時点で5つの課題が出ています。これについてご意見ございますか？

会 長：4点目の学習機能の充実の中で、各種教養講座における生涯学習事業との関わり方等について具体的説明を求めます。

事務局：今年度も図書館事業の一環として各種講座を開催していくわけですが、これとは別に生涯学習課においても、社会教育、社会体育、ホール事業の中で各種講座、教室等を開催していきます。そういったなかで常に問われる部分として、各種事業が、類似、重複していないか？必要性があるのか？といった部分です。図書館事業については各8図書館が中心となって行っているわけですが、良く言えばニーズに沿ったきめ細かい市民に身近な講座が多い反面、前述したように、「もう少し効率的な取り組みが出来ないか？内容的に重複しているようなものあれば整理統合が出来ないか？」といった部分があります。有意義な事業展開をしていくためにも、それらを検証、検討していくことが課題になるかと思います。

会長：市内8つの図書館が熱心に活動を行っているようですが、横の連携、情報の共有ということを行っていますか？

事務局：日常的な連絡調整や運営会議等で意見交換を行っています。事業の実施については、スケールメリットの大きい事業を目指すべきなのか？見直しが必要な事業は整理、統合、共催等を踏まえ内部での検討を行っています。その中で事業の実施から検証までをしっかりと行い、また、委員の方たちからも意見をいただくような事もあるかと思います。

委員：今までは図書館事業中心の報告を基にした意見交換でしたが、これからはもう少し視野を広げ、情報発信源としての図書館の役割を果たすなかで、生涯教育、学校教育、社会教育等との連携、整合性を図りながら事業展開、意見交換をしていかなければならないということで受け止めました。とても分かりやすい説明でした。

事務局：教育長の話にもあったように今年度は生涯学習推進計画の策定にも着手しています。その中で各種事業についても整理統合等を求められる可能性もありますが、いずれにせよ明確な指針を立てながら、生涯学習全体の推進や子供たちの教育環境も含めて学校との交流等も考えていく必要があります。そういった中で委員の皆様にもご意見をいただく機会が増えていくかと思います。

会長：市の総合計画の一環である生涯学習推進事業を検討中との事ですが、それに関連して本協議会でも、整理統合、役割分担等の見直し等が課題になっていくということのようです。

個人的意見になりますが、学校図書館も子供達や地域のために色々な活動を行う中で各地域の図書館とも連携を図っているとは思いますが、せっかく市内各地に地域の図書館、学校図書館があるわけですから、もっと連携を密にしながら地域の本の好きな子供たちの期待に応えていく必要があると思います。

この他に何かありますか？無いようなので①の議題を終了します。次に「令和3年度事業計画及び予算」について説明をお願いします。

② 令和3年度事業計画及び予算について

～事務局より資料に基づき説明～

会 長：事務局の説明について何かご意見ございますか？

委 員：「ウィキペディアタウン@北杜」とはどのような事業ですか？

事務局：ウィキペディアとはインターネット上にある百科事典で、誰でも編集が可能で記事が掲載できるものです。百科事典という性質上、特筆性があるもの、残しておくべきものを掲載します。本事業においては、地域の歴史的遺跡や文化財等を残していこうということで3年前から行っています。今年度は、長坂の穂見諏訪十五所神社を見学し、図書館にある地域資料を用い取材し、その内容を参加者に記事にしてもらい当日ネット上に掲載しました。インターネット上に記事があれば市外の人が検索した場合には北杜市に興味をもち、観光等にも繋がりますし、市内の人であればより愛着を持ってもらえるという考えから事業を行っています。

会 長：そのほかに何かありますか？よろしいでしょうか？よろしければ議題の令和3年度事業計画及び予算についての説明を終了いたします。次に議題のその他について何かございますか？事務局の方で何かありますか？

館 長：特にお示しするものはありません。

委 員：協議会の委員については定数8名ということで、これまでは各8町から1名の委員が選任されていましたが、今回は3町（高根、長坂、小淵沢）から委員が選出されていません。理由をお聞かせください。

館 長：合併から17年が経過し、狭いエリアの中で委員をお願いすることが困難になってきました。条例や規則にも学識、学校教育、家庭教育に携わる者という規定はありますが、各町を代表する者とは定められていません。「出身の町」という市民意識も完全には払しょくされてはいませんが、合併当初よりはだいぶ薄れてきました。そのような時間の流れの中で、広い視点での全体的な討議が自由に出来る雰囲気になってきたと判断しました。本協議会においては今回3つの町から委員が選出されていませんが、必要に応じて別の組織、委員会等で各町の代表者の方の力が必要となってくる場面があるかと思います。その際には地域委員の代表等、必要な人材を加えた組織を検討してまいります。協議会委員の選出についての成否については、今後検証していかなければなりません。広い視点で全体を見据え、大きな課題認識をもった議論に発展していくためのものをご理解いただきたいと思います。

報 告

① 事務局（たかね図書館、小淵沢図書館、小淵沢中学の各司書）より近況報告等の説明

会 長：ご報告ありがとうございました。以前、本を探して貰った際に、市立図書館、学校図書館の連携により恩恵を受けた事があり大変感謝しているので、今後とも関係性を強化してい

っていただきたいと思います。それでは今の報告についてとその他について何かご意見ございますか？

委員：現在コロナ禍とういことで、図書館の管理運営が制限されていますが、やむを得ない事だと思っています。また、北杜市に無い本については国会図書館を通じて対応していただけるのでありがたく思っています。しかしながら、国立図書館の資料は個人への貸出を禁止し館内での閲覧のみとなっています。さらに1時間の利用制限という条件が有り、時間内で読む事は困難であります。私も含め私の耳にも国会図書館の本についても貸し出して欲しいという声も届いているので、何とかならないでしょうか？

館長：図書館の利用制限については、もう少し規制を緩和出来ないか？という意見が色々な所から寄せられています。しかしながら、昨年の秋以降規制が緩和出来ないということは、県内においても感染が増えている。高止まりである。置かれている状況は規制を緩めるといった状況にないと判断をしています。

ワクチンの接種率が上がり、抗体保有者が増え流行が抑えられたといった状況が見て取れば、大きな要因にはなるかと思いますが、現状はそれを許してくれない状況にあります。県内の施設全般の状況を踏まえながら総合的に規制の緩和を判断していきたいと考えております。

また、国会図書館の図書の貸し出しは出来ませんが、県立図書館や共生自立圏として共に取り組んでいる富士見、原村で所有している図書については、貸し出しが可能です。そのような事をご紹介していただければと思います。

委員：入館制限については、2度目の接種をしてから2週間といったある程度の証明があれば、制限の緩和をしてもらえないでしょうか？

館長：まだそこまでの具体的な検討に入っていません。北杜市の場合1回目の接種が済んでない人も多いため、推移をみながら判断させていただきたいと思います。

会長：その他何かございませんか？

それでは議事を終了いたします。ご協力ありがとうございました。